

2023年10月10日

日野市長
大坪 冬彦 様

日野・生活者ネットワーク
代表 出沼 恵美子

2024年度日野市予算編成にあたっての要望

日頃より市長はじめ職員の皆様には、市民のために御尽力頂き感謝申し上げます。また、私たちの活動にご理解いただいておりますことに、心よりお礼申し上げます。

日野・生活者ネットワークは、結成当時から変わらず、まちづくりに市民の声を反映させ、誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちにしたいと、暮らしの中にあるさまざまな問題の中から政策提言し、その実現に向けて活動しております。提案しつづけてきたことが、一つずつ実現されていることには、感謝しております。

日野市はさらに厳しくなると予想される財政状況下、多くの課題を抱え、日野市政上最も困難な時期であることには変わりありません。そのような状況下、多額の予算をかけずとも、いかに効果的な施策を展開できるかが問われます。同時に、未来を担う子ども達への投資は惜しんではならないと考えます。

私たちの日頃の活動を通じてみえてきた課題や、市民の皆さんからの声を踏まえ、次年度への予算要望として提出させていただきます。2022年の市議選において市民の皆さまに提示した政策にそってまとめました。なお、文言が変わっても内容的に同じであれば「継続」としております。

別紙の予算要望項目をご検討頂き、来年度予算に反映していただきますよう、お願い申し上げます。

尚、お手数をおかけいたしますが、文書にてご回答くださいますよう併せてお願い申し上げます。

以上

2024年度（令和6年度）日野市予算要望項目

日野・生活者ネットワーク

1. ケアする人もされる人も、誰もが安心して暮らせるように

- 1) ケアラー支援を地域福祉計画の中に位置づけ、条例をつくってください。【継続】
- 2) ケアラー支援策の策定の際には、実際にケアラー、元ケアラーの声を聞き取る場を設け、参加者は公募してください。【継続】
- 3) ケアラーは複合的な課題を抱え込んでいる場合も少なくありません。相談の入口となる地域包括支援センターではどこであっても同じ支援が受けられるよう、支援フローを作成し、共有してください。【継続】

2. 子どもの権利が守られ、いきいき育つ環境をととのえる

- 1) 学校に行けない、行かない子ども達（不登校児童・生徒）の個に応じた学びを保障する体制の強化を求めます。【新規】
- 2) 不登校児童・生徒の居場所づくりをしている活動団体への支援を求めます。【新規】 →
- 3) 平和と人権課より講師を派遣して、子どもを性被害から守るための授業を全校で行ってください。【新規】
- 4) 「子どもオンブズパーソン条例」ができた際には、市民に広くその制度が理解されるよう、シンポジウム等の開催を、また子どもへの周知の工夫を求めます。【継続】
- 5) エールに相談する際、予約が3ヶ月先という実態があります。待ち期間を短縮できるよう体制の見直しを求めます。【新規】
- 6) 高幡エリアには子育て広場がありません。早期に開設を求めます。【継続】

3. すべての人が自分らしく「共に」生きる社会を実現する

- 1) 精神障害にも対応したピアサポート体制の構築を求めます。【継続】
- 2) 小学校では福祉教育「ハートフルプロジェクト」、中学校では「認知症サポーター講座」の全校展開を求めます。【新規】
- 3) 計画や制度の検討会の市民委員には必ず当事者が入るよう、また当事者が参加しやすい運営上の配慮を求めます。【継続】
- 4) デフリンピック2025東京開催に向け、言語としての手話への理解が広まるよう、手話講座のオンライン配信及びHPへのアーカイブを求めます。【継続】
- 5) 香害の周知・啓発のため、パネル展の開催とともに、当事者が安心して語り合える場を求めます。【新規】

4. ストップ地球温暖化!自分から地域からはじめよう

- 1) 気候市民会議の提言を推進していくためにも、福祉政策課同様に「環境政策課」を設置してください。【継続】
- 2) PFAS 汚染に関しては、農業用井戸や防災井戸においても検査を求めます。【新規】

5. 感染症や災害への対策は日常から

- 1) 雨水タンク設置補助制度を令和6年度より実施できるよう、制度設計を進めてください。【継続】
- 2) 自治会や自主防災会等の単位で、ご当地ハザードマップを作成するワークショップを開催できるような後方支援(説明、マニュアル、白地図などの提供)をしてください。【継続】
- 3) 災害対策の観点からもソーラー式 EV 車充電器の設置を東京都に要望してください。【継続】
- 4) 南多摩保健所との連携体制はコロナ対応を経てどのように改善されたのか、市民にわかりやすく知らせてください。【新規】

6. 市民が主役!市政をもっと身近に

- 1) 予算に市民の声が反映されるよう、市民参加型予算枠をまずは森林環境譲与税から設けてください。【新規】
- 2) 子どもの頃から市政を身近に感じられるよう、子どもに関する施策やまちづくりなど、市の職員が直接学校に出向いて説明し、子どもの声をきいてください。【新規】
- 3) パブリックコメントの年間スケジュール掲示や告知が徹底されていません。必ず HP お知らせ欄や LINE で流すなどルールをつくり、フロー化して徹底してください。【新規】

7. 日野市の魅力、再発見!

- 1) 郷土資料館の HP は日野市の歴史を知りたいという子どもから、専門的な知識を求める人までも対応するよう、郷土史に詳しい市民と共に、デジタルアーカイブの充実など更なる改善をはかってください。【継続】
- 2) 東京都のヘブンアーティスト事業のように、まちで市民が気軽に演奏等を楽しめる仕組みをつくってください。
【新規】